

海外から立命館にやってきた留学生と、日本国内で学んできた学生が学びあう

教養科目「異文化間テーマ演習」

を受講してみませんか？

立命館大学では、2016 年度より、正規留学生と日本人学生等が学びあう教養科目「異文化間テーマ演習」を開講しています。授業言語は日本語、授与単位は 2 単位です。

本科目は、他文化・多文化についての社会状況を多角的に観察・分析する力を身に付け、社会や文化を相対視できるようになることを目的とし、異なる文化の人たちを理解するための基本的な考え方、また異文化理解の際に役に立つ概念を学びます。さらに、日本、そして世界における様々な問題・トピックに関して日本人と留学生が討論することで、互いの文化、世界、そして日本の中に存在する様々な異文化に関わる問題に対する理解を深めます。

ぜひ受講してみてください！

＜受講できる学生＞

2016 年度以降入学の正規留学生と国内学生

＜クラス定員＞

- ・衣笠キャンパスおよび OIC 開講クラスは 40 名
- ・BKC 開講クラスは 20 名



「異文化間テーマ演習」ここが面白い！

2018 年度衣笠・OIC クラス担当予定

藤原智栄美先生からのメッセージ

「多様な見方」を知る。それがこのクラスの面白さだと思います。クラスでは日本や世界の様々なトピックについて意見を交換し合う様々な活動を行います。自身の見方に新しく気づいたり、異なる文化を捉える際の「道具」を増やしていく…そんなイメージのクラスです。私自身、皆さんと、様々な発見ができるのを楽しみにしています！

2018 年度 BKC クラス担当予定

上田俊介先生からのメッセージ

「異文化」という言葉があちこちで聞かれるようになりましたが、そもそもどういう言葉なのでしょう。この授業は、担当講師が何かを教える授業でも、学生が答えを見つける授業でもなく、身近にある「異文化」に触れ、共同作業を重ねることで、自分と向き合い、多文化の一つとしての「母文化」をより深く知る授業です。

※2018 年度「異文化間テーマ演習」の授業時間割と受講登録方法は、2018 年 3 月中旬に各学部で配布される「履修・登録の手引き」および「時間割表」を確認してください。

立命館大学 教養教育センター